

第56回社会教育研究全国集会東京集会2日目(8月28日)
自由交流会「この指とまれ」企画 (18~20時)

「東京・社会教育史を 語る・学ぶ・交流するつどい」

『大都市・東京の社会教育—歴史と現在—』刊行記念特別企画

本集会開催地・東京の戦後社会教育のあゆみをまとめた
『大都市・東京の社会教育—歴史と現在—』(エイデル研究所)が、
今夏、全国集会にあわせて刊行されます。

大都市ゆえにさまざまな課題を抱え、
他方で多様な実践の蓄積がある東京の戦後70年の変遷、
トピックを収めた本書のエッセンス(裏話?)を、
本書編集委員会委員長・小林文人が語ります。

本書のメッセージ「社会教育の“復権”」に向けて、
参加されるみなさんと自由に議論・交流できればと思います。

集会特価

定価 4,500円
のところ

3,500円

『大都市・東京の社会教育—歴史と現在—』目次(A5判 570頁)

序章 大都市・東京の社会教育—その歴史をどうみるか—

第1部 通史 戦後東京の社会教育行政・施設史(戦後初期より1980年代まで)
東京都の社会教育行政史(生涯教育・生涯学習施策の登場以降)
東京・多摩地域の市民活動史

第2部 行政・施設史 第1章 公民館 第2章 図書館 第3章 博物館 第4章 職員・委員

第3部 市民・学習史 第1章 女性 第2章 子ども・青年 第3章 PTA

第4章 障害者・人権 第5章 識字・基礎教育

第6章 市民活動・NPO・コミュニティ 第7章 東京社会教育の諸相

終章 展望 東京・社会教育 10の提言

資料篇 年表、各自治体基礎データ、施設数、職員数、社会教育費の推移データ

「この指とまれ・東京社会教育史のつどい」はどなたのご参加も**大歓迎**です!

■日時：8月28日(日) 18~20時 ※終了後別会場で懇親会を予定。

■会場：明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー校舎内

※同封別紙の「この指とまれ」案内をご確認ください。不明な場合は以下連絡先まで

■お話：小林文人(本書編集代表、東京学芸大学名誉教授)

呼びかけ：井口啓太郎、石川敬史、江頭晃子、齋藤真哉、野々村恵子(編集委員会事務局)

連絡先：090-4620-4643(井口携帯)